

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択）

事後評価結果（公表用）

番号	研究名	研究代表者	評価
24-2	道路資本の市町村別ストック推計に関する研究開発	筑波大学 教授 堤 盛人	B
<p>&lt;研究の概要&gt; ※成果報告レポートより引用</p> <p>道路を始めとした社会資本の現状や投資の効率性をより適切に把握するため、ストック額を市町村別に推計する方法論の開発を研究目的として、物量ストックに基づいた資本ストック額の推計を実施した。</p> <p>&lt;事後評価結果&gt;</p> <p>限定的な研究成果であったものの、多くの労力を要すPS（物量的ストック）法を採用し、道路資本ストック推計手法の適用可能性を示したことの意義は大きい。研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実務的に重要な課題でありながらデータの制約から実施が困難なテーマに地道に取り組んだ点は評価できるが、困難さの指摘にとどまらない成果のとりまとめが必要と考えられる。</li> <li>2. 今後は、SCGE（空間的応用一般均衡）との連携、DRM（デジタル道路地図）とのシステムティックな連携などについても検討していただきたい。</li> </ol>			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第27回新道路技術会議において審議したものである。